

農業振興検討部会（検討報告）平成26年8月6日

1 これまでの議論の進め方と検討内容

1. 第1回農業振興検討部会 H25.11.28（木）
 - 議論テーマ 「部会の進め方と検討テーマ」
 - 議論内容 各委員の自己紹介と市内農業への関わり、認識など
 - まとめ 部会の位置付けや現状を確認
 次回は本市総合計画後期基本計画（農業施策）に関して検討を行う
2. 第2回農業振興検討部会 H26.1.30（木）
 - 議論テーマ 「東大阪市総合計画 後期基本計画の農業施策について」
 - 議論内容 農業振興施策にかかる法令関係の整理と、現状の課題など
 - まとめ 今回のテーマに基づき次回も継続して検討を行う
3. 第3回農業振興検討部会 H26.7.18（金）
 - 議論テーマ 「農業振興施策について」
 - 議論内容 これまでの議論からテーマを絞り、「遊休化されている農地」「体験農園、貸農園」を中心に検討を行う
 - まとめ
 - 1) 農家サイドの営農支援に関する需要と、市民・消費者サイドの援農や農業に関するニーズは上手くマッチングするのか
 - 2) 両者のニーズ、接点が上手くマッチしたシステムを探っていく必要があり、(今回のテーマに基づき) 次回も継続して検討を行う

2 これまでの議論で見えてきた課題

1. 都市農業経営が抱える課題

本市における農業は、現在は消費地の中に点在する存在となっており、技術力・生産意欲が高いものの、農地面積も小規模なものが殆どであり、市内で細々と農業を行う状況になっている。また、全国的な人口減少、少子高齢化が進むなかで、本市農業も就農

者の高齢化や後継者の育成、農地の継承など、構造的課題を抱える状況にある。とりわけ都市農業においては農地を維持・継承していく上で、相続による農地の細分化、相続税納税のための物納、不在地主の増加、そして相続税納税猶予・生産緑地に関する様々な制約・制限があり、それに伴う相続税、固定資産税などの税負担への対応は、都市農家が抱える課題となっている。

また、昭和40年代に都市化の進行により整備された農業用水利施設を始めとする農業生産基盤施設については、交通車両の大型化、地盤沈下、経年劣化による損傷、農地が点在、農家が減少する中で水利団体の維持管理・改修費用費の応益負担には限界がある状況となっている。

2. 安全で安心できる農産物を求める消費者ニーズの高まり

東大阪市においては、都市域のなかの農業という立地条件にあり、地元の新鮮で安全・安心な農産物を市民・消費者に提供でき、農地は貴重な緑地・防災空間機能など、市民の農業への期待は高いものがある。

現在、その大きな柱として本市も参画する東大阪市農業振興啓発協議会が「ファームマイレージ」運動に取り組み、「消費者が安心できるエコ農産物の生産推進を行い、市民・消費者に提供し、安全なエコ農産物の優先的な消費を促し、場合によっては生産者と消費者が交流する」事業を展開している。

3. 都市農業の振興を図るには

こういった生産者と消費者を繋ぎ、生産者には消費者ニーズにタイムリーに対応できる環境を創りだし、市民・消費者には本市農業への意識・関心を高めてもらう、食育関係の事業との連携も大切にしながら、生産者・市民・消費者が共になって地場農業を持続的に守り育てていくことを、目的とした支援等の事業が必要であるとする。

3 今後の議論の進め方

1. 「東大阪市総合計画後期基本計画」農業部門の主な施策から当面は次の項目について検討を行う

- 1) 「安全で新鮮な農産物を消費者に届けます」および「東大阪市の特産物を地域ブランドとして発信」
 - 2) 「農業と農地空間の担い手を育てます
 - 3) 「農地空間の持つ価値や機能を生かします」
2. これまでの議論における主な意見（市民の目線からみた課題や期待など）から検討を行う
- 1) 休耕地の活用～以前に休耕地の様にみえる農地で、菜の花を栽培し油の収穫から廃油キャンドルづくりを体験したが、この様な有効利用はできないか
 - 2) 農産物のブランド化～司馬遼太郎の「菜の花忌」と繋げ、菜の花を本市の観光資源化にできないか、あるいは付加価値の高い農産物などの特産品はつukれないか
→現在、東大阪ではエコ農産物を地域ブランドとして推進している
 - 3) 貸農園・福祉農園・体験農園～活用を進めていければ、市民のニーズにも応え、農地の保全にも繋がるものができるのではないか
3. 上記を踏まえて、農地を保全し農業を守り、継承していく仕組みづくり。
市民が農業に参加し、農地を利用できる仕組みについて、引続き検討を進める。

4 今後のスケジュール

平成26年10月

第4回農業振興検討部会を予定

平成26年11月

第5回中小企業振興会議 経過（進捗）報告